



▲市議会HP



▲録画配信
(12月11日一般質問)



学校

寺戸睦子 議員（白和）

各小中学校の今後は

答弁…魅力的な学校の在り方を示していく

問 市立学校適正規模・適正配置等計画支援業務委託について、①計画をどのような形で進めて行き、どのようなゴールを目指しているのか。②特色があって、近郊から移住してでも通わせたいと思う魅力のある学校を設立する考えがあるか伺う。

答 白岡市の学校に通いたい、通わせたいと思える魅力的な学校の在り方を将来ビジョンとして示し、これを実現するためのロードマップとして計画を策定する。将来ビジョンを含めた計画の策定に当たり、市民をはじめとしたさまざまな意見を伺いながら進めていく。



つくば市立みどりの学園
義務教育学校

交通

答弁…さまざまな視点から公共交通を考える

問 費用対効果等で町内循環バスが廃止されたが、高齢になっても車がないと大変不便なため、手放せないという声が多い。①のりあい交通の利用状況は。②のりあい交通以外の具体的な考えはあるか。③10人乗り程度のワゴン車を活用することはいかがか。

答 ①5年度は過去最高の延べ約1万3千人のかたにご利用いただいている。②市地域公共交通計画に基づき、さまざまな視点から地域公共交通の在り方を考えていく。③特定の地域において、小型バス等での高齢者移動支援の実証実験の実施を検討している。



交通

嶋田友一郎 議員（白和）

誰もが使いやすい 地域交通サービスを

答弁…あらゆる施策について検討していく



▲録画配信
(12月11日一般質問)

問 現行のりあい交通での対応が難しい通学・通勤等ニーズに応えるため、運行時間拡大と程よく定時制が確保されたオンデマンド型交通を運行できないか。また、運転免許証返納後の証明書等を提示することでタクシー等を割引で利用できる制度を導入してはどうか。

答 通学・通勤の移動手段の確保は重要な課題である。事業者との協力体制の整備等、あらゆる施策について検討していく。運転免許証自主返納者に対する支援については、まずは、現在実施している「のりあい交通」の回数券助成事業を推進し、効果を見極めたい。



国土交通省が発行する手引き

農政

特産品「梨」の生産
持続可能な農業を

答弁…梨の栽培に係る支援を行っていく

問 農地耕作条件改善事業において実施している梨団地整備の状況は。また、市の特産品である高品質の梨の生産について、栽培技術の継承性の確保、新たな担い手の確保、梨栽培を開始することに係るハードルを下げるためにも支援の充実を図ってはどうか。

答 柴山地区の約2.9haの農地において、埼玉県農林公社が事業主体となって農地の区画拡大等の整備を行い、8年3月末の完了に向けて進めている。市では、梨栽培に係る支援を継続するとともに、関係機関と連携し、新規就農者にもできる限り支援していく。